

第七十一回帝國議會 貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案外二件委員會議錄(速記)
衆議院
第二回

會議

昭和十二年八月四日(水曜日)午後一時五十

分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 増田 義一君

理事寺島 權藏君

理事行吉 角治君

理事中村 梅吉君

理事川崎巳之太郎君

飯塚春太郎君

津原 武君

百瀬 渡君

原 玉重君

渡邊玉三郎君

木村 淳七君

中田 儀直君

田中源三郎君

吉植 庄亮君

松浦 伊平君

坂田 道男君

北勝太郎君

加藤 錄造君

三田村武夫君

八月三日委員福田悌夫君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ西村金三郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月四日委員百瀬渡君及片岡恒一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ原玉重君及木村淺七君ヲ

議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

外務省通商局長 松嶋 鹿夫君

外務事務官 山形 清君

商工政務次官 木暮武太夫君

商工參與官 佐藤謙之輔君

商工省工務局長 小島 新一君

商工省統制局長 黒田 鴻五君

貿易局長官 寺尾 進君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

貿易局長官 寺尾 進君

商工書記官 美濃部洋次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案

(政府提出、貴族院送付)

貿易組合法案(政府提出、貴族院送付)

工業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

院送付)

説明ガアリマス——木暮政務次官

○木暮政務次官 本委員會ニ附議サレテ居

リマスル三法案ニ關スル提案ノ理由ヲ御説

明申上ダマス、申ス迄モナク我國現下ノ經

濟、財政ノ狀況ニ鑑ミマシテ、貿易ノ振興

ヲ圖ルコトガ極メテ緊要デアリマスガ、近

頃ノ國際貿易ノ情勢ハ、良イ品物ヲ安ク賣

ルト云フコトダケデハ中々ムヅカシクナッ

テ參ツタノデゴザイマシテ、自給自足主義ノ

結果カラ、關稅ヲ引上ダマシタリ、輸入ノ

制限割當ヲ致シマシタリ、色々ナ方法ヲ以

テ外國品ノ輸入ヲ防遏スル措置ヲ執ルモノ

ガ段々ト多クナツテ參リマシタリ、或ハ又自

分ノ國ノ生產品ノ買付ヲ増加致シマスル爲

ニ、品物ヲ入レルガ其代リコチラノ方ノ品

物モ買ヘト云フヤウナコトヲ要求シテ參リ

マスモノモ、段々多クナツテ參リマシタヤウ

ナ情勢デゴザイマシテ、ドウシテモ輸入輸

出ト云フモノニ對シマシテ、相當統制規律

ヲスル必要ガアルノデゴザイマス、ノミナ

ラズ現下ノ我國ノ情勢ニ鑑ミマシテ、生產

タイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソ

付託議案
 提出、貴族院送付
 貿易組合法案(政府提出、貴族院送付)
 工業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

コデ輸出品、又ハ輸入品ニ關シテ統制ヲ行ハシムル必要ガアリマスル時ニハ、只今申シマシタ關係業者ノ代表者、或ハ公平ナル第三者、或ハ關係ノ官吏ナドヲ以テ統制協議セシメ、統制ヲ行フヤウニシタイト云フノガ、貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案ノ第一點デゴザイマス、ソレカラ輸出品又ハ輸入品ニ關スル統制ガ強化セラル、ニ從ヒマシテ、輸出商、輸入商、生産者等ノ間ニ利害ノ衝突申シマスカ、關係ガ非常ニ複雜深刻ニナツテ參リマス虞ガアルノデアリマスガ、斯ウ云フ場合ニモ其間ノ利害ノ圓滿ナ調整ヲ圖ルコトガ必要デゴザイマスカラ、ヤハリ今申シマシタ統制協議會ニ於テ、是等ノ關係業者ノ間ノ利害調整ノ大綱ヲ審議セシムルノ途ヲ開キタイト云フノガ、此法案ノ第二點デゴザイマス、而シテ此統制協議會ニ於キマシテ統制ノ大綱ガ決マリマシタナラバ、恐ラクハ關係業者ガ其決議ヲ尊重致シマシテ、自發的ニ之ヲ實行致スコト、存ジテ居ルノデアリマスルガ、萬々一色々ナ事情デ之ヲ實行致サナイト云フヤウナ場合ニハ、政府ハ必要ニ應ジマシテ、統制協議會ノ決議シタ事項ノ實施ヲ命ジ得ルノ途ヲモ開イタノデアリマス、斯ノ

如ク貿易及關係產業ノ調整ハ、出來ルダケ關係業者ノ自治的ノ統制ニ俟ツコト、致シタノデアリマスケレドモ、最近ノ經濟情勢ハ唯是ダケデハドウシテモ十分デハゴザイマセヌ、何分目マグルシク非常ニ變リ易イ世ノ中デアリマスカラ、關係業者ノ此自治的ノ統制ヲ俟ツ暇ノナイ場合モアリマスルシ、又自治的統制ダケヲ以テ致シマシテハ、十分デナイト云フ場合モ豫想サレルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ場合ニハ、必要ガアリマスル時ニハ、政府ガ特定ノ物及び期間ヲ限リマシテ、其輸出入ノ制限又ハ禁止ヲ爲シ得ル途ヲモ開イタノデアリマス、尤モ此場合ニハ慎重ヲ期シマシテ、特定ノ審議機關ノ議ヲ經テヤルコトニ致シタノデアリマス

是ガ大體貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案ノ要目デゴザイマシテ、前議會ニ於キマシテモ、衆議院ノ方ニ提案シマシテ、審議未了ニナツタ法案デゴザイマシテ、ソレニ多少ノ修正ヲ加ヘタノデアリマス、又此法案ハ貿易ガ主デアリマスケレドモ、之ニ關係スル產業ノ利害ノ調整モ入ツテ居ルノマリマシタナラバ、恐ラクハ關係業者ガ其

見地カラ致シマスルト、相當ノ統制、規律ヲ加フル必要ガアルノデアリマスカラ、新シク輸出組合ノ外ニ輸入組合ヲ認メル必要ガアルノデアリマス、輸出組合ト、輸入組合トノ二ツノ制度ヲ認ムル以上ハ、又此二ツノ組合ヲ相提携セシマシテ、其聯合會ノ制度ヲ設クル必要ヲ認メタノデアリマス、右申述ベマシタ理由カラ致シマシテ、從來ノ輸出組合法ヲ廢止致シマシテ、之ニ代フルニ新ニ貿易組合法ヲ編ミマシタノデゴザイマス、隨テ此貿易組合法ノ内容ハ、

因ニモナッテ居ルト云フヤウナ事情ニアルノデアリマス、而シテ工業組合ト云フ制度ニ依ツテ是等ノ點ニ付キマシテ統制ヲ加ヘマシテ、漸次改善セラレテ居ルノデアリマスルガ、尙ホ此法律ヲ施行致シマシタ其後ノ實績ニ鑑ミマシテ、統制確保ノ見地カラ多少不十分ナ點モ認メラマスノデ、是方整備ヲ圖ル必要ヲ認メタノデアリマス、例ヘバ從來ノ工業組合ハ、統制ノ仕事ト、共同施設ノ仕事トノ兩方ヲヤルコトニナッテ居リマシテ、統制ダケラヤル工業組合ト云フモノハ認メテナカッタノデアリマスルガ、貿易ノ統制ニ對應致シマシテ、統制ノミヲ行フ工業組合ノ設立ヲ強制スル必要ノアル場合モ考ヘラレマスルノデ、新タニ統制工業組合ノ制度ヲ設ケマシタ、又例ヘバ工業組合員ノ爲ニ組合ガ新タニ債務ノ保證ヲスルコトガ出來ルト云フヤウナ規定、是ハ組合員ノ金融上ノ便ヲ圖ル爲ニ加ヘタ規定デアリマスガ、サウ云フ規定デアリマスト、ソレカラ工業組合ヲ組織スルコトノ出來マスル品種ハ、從來ハ一々商工省ノ告示ヲ以テ指定致シテ居リマシテ、其品物ノ指定ガゴザイマセヌト、組合ガ作レナカッタノデアリマスガ、今度ハサウ云フコトヲ總テ廢止致シマシテ、自由ニ工產品ノ製造業デアレ

バ此組合ヲ作ルコトガ出來ルヤウニ致シマシタシ、其他監督規定ナドヲモ多少補充致シタノデアリマシテ、是等ガ工業組合法ト云フモノノ中ニ一部改正ヲ加ヘマシタ點デゴザイマス、此貿易組合法案ト工業組合法中改正法律案トハ何レモ前議會ニ提案致シマシテ、審議未了トナツタ法案デゴザイマス、何卒十分御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレバ從來ノ工業組合ハ、統制ノ仕事ト、共同施設ノ仕事トノ兩方ヲヤルコトニナッテ居リマシテ、統制ダケラヤル工業組合ト云フモノハ認メテナカッタノデアリマスルガ、貿易ノ統制ニ對應致シマシテ、統制ノミヲ行フ工業組合ノ設立ヲ強制スル必要ノアル場合モ考ヘラレマスルノデ、新タニ統制工業組合ノ制度ヲ設ケマシタ、又例ヘバ工業組合員ノ爲ニ組合ガ新タニ債務ノ保證ヲスルコトガ出來ルト云フヤウナ規定、是ハ組合員ノ金融上ノ便ヲ圖ル爲ニ加ヘタ規定デアリマスガ、サウ云フ規定デアリマスト、ソレカラ工業組合ヲ組織スルコトノ出來マスル品種ハ、從來ハ一々商工省ノ告示ヲ以テ指定致シテ居リマシテ、其品物ノ指定ガゴザイマセヌト、組合ガ作レナカッタノデアリマスガ、今度ハサウ云フコトヲ總テ廢止致シマシテ、自由ニ工產品ノ製造業デアレ

○行吉委員 議事進行ニ關シマシテ一言申述ベタイト存ジマス、本案ハ三案トモ時局ニ關シマシテ緊切ナル關係ヲ持ツ案デアリマシテ、吾々委員ト致シマシテモ、色々重要ナル意見ヲ多ク持ツテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ過般來ノ此委員會全體ヲ通じマシテ、質疑ノ場合ニ時間ヲ多ク要スル爲ニ、緊急ヲ要スル議案ニ於キマシテモ、急速ニ之ヲ決スルコトガ出來ナイ嫌ガ多クアタル上上海方面デアル毛織物業者ハ非常ニ打撃ヲ受ケテ居ル、隨テ本年七月カラ來年六月マデノ間ノ貿易割當ヲ御決定ニナル上ニ於テ、ドンナ御考ヲ持ツテ居ラレルカ、例ヘバ一年分ヲ御決定ニナルトスレバ、輸入輸入ニ付テ如何ナル對策ヲ有セラル、カ、北支事變以來、羊毛工業製品ハ輸出先ノ主

○渡邊委員 御注意モアリマスカラ、極メテ簡單ニ質問シタイト思ヒマス、貿易及ビ關係產業ノ調整ニ關スル法律案ニ付キマシテ、茲ニ只今御説明ガアリマシタガ、具體的ノ事實ニ付テ御伺ラシタイト思ヒマス、所謂貿易ヲ調整セントセラレマスニ付テ、日蘭會商ガ丁度最近日本側ノ言ヒ分ト、向

六月三十日マデノ成績ヲ以テ行キタイ、斯ウ云フ點デ決裂ニナツテ居リマスガ、當局ハ其利害得失等ニ付テドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスカ、尙ホ是ガ解決ニ付リタイト思ヒマス、ソレカラ此法案ニ依リマシテ、前議會ニ出マシタ所謂輸出統制稅ハモウ其ノ必要ガナクナツタ信ジテ居リマス、左様ニ考ヘテ宜シカ、併シ國際收

支ノ適合ヲ圖リ、特定國トノ輸出及ビ輸入ノ均衡ヲ圖ル爲ノ調節ニ關シテ——羊毛ノ質疑ニ入リマシテ、通告順ニ依ツテ發言ヲ許シマス——渡邊玉三郎君

○増田委員長 只今行吉君ヨリ適切ナル議事進行ノ御發議ガアリマシタ、開會前ニ委員長ヨリ御趣意ノヤウナ意味ヲ御諮詢シテ置キマシタガ、本日ノ質問ノ工合ヲ見マシテ、皆サンノ自制ニ依ツテ、所謂自治的ニ御願スル譯デ、今日ノ時間ノ工合ニ依ツテ、明日ノ委員會デハ質問者ノ數ト時間トヲ調べテ、或ハドノヤウニ質問ノ時間ヲ制限シナケレバナラヌカト云フコトハ、質問者ノ數

ト時間トカラ割出サナケレバナラヌト思ヒマスカラ、御趣意ハ尊重致シマス、是ヨリマシテ、吾々委員ト致シマシテモ、色々重要ナル意見ヲ多ク持ツテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ過般來ノ此委員會全體ヲ通じマシテ、質疑ノ場合ニ時間ヲ多ク要スル爲ニ、緊急ヲ要スル議案ニ於キマシテモ、急速ニ之ヲ決スルコトガ出來ナイ嫌ガ多クアタル上上海方面デアル毛織物業者ハ非常ニ打撃ヲ受ケテ居ル、隨テ本年七月カラ來年六月マデノ間ノ貿易割當ヲ御決定ニナル上ニ於テ、ドンナ御考ヲ持ツテ居ラレルカ、例ヘバ一年分ヲ御決定ニナルトスレバ、輸入輸入ニ付テ如何ナル對策ヲ有セラル、カ、北支事變以來、羊毛工業製品ハ輸出先ノ主

六月三十日マデノ成績ヲ以テ行キタイ、斯ウ云フ點デ決裂ニナツテ居リマスガ、當局ハ其利害得失等ニ付テドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスカ、尙ホ是ガ解決ニ付リタイト思ヒマス、ソレカラ此法案ニ依リマシテ、前議會ニ出マシタ所謂輸出統制稅ハモウ其ノ必要ガナクナツタ信ジテ居リマス、左様ニ考ヘテ宜シカ、併シ國際收

支ノ適合ヲ圖リ、特定國トノ輸出及ビ輸入ノ均衡ヲ圖ル爲ノ調節ニ關シテ——羊毛ノ質疑ニ入リマシテ、通告順ニ依ツテ發言ヲ許シマス——渡邊玉三郎君

○増田委員長 只今行吉君ヨリ適切ナル議事進行ノ御發議ガアリマシタ、開會前ニ委員長ヨリ御趣意ノヤウナ意味ヲ御諮詢シテ置キマシタガ、本日ノ質問ノ工合ヲ見マシテ、皆サンノ自制ニ依ツテ、所謂自治的ニ御願スル譯デ、今日ノ時間ノ工合ニ依ツテ、明日ノ委員會デハ質問者ノ數ト時間トヲ調べテ、或ハドノヤウニ質問ノ時間ヲ制限シナケレバナラヌカト云フコトハ、質問者ノ數

ト時間トカラ割出サナケレバナラヌト思ヒマスカラ、御趣意ハ尊重致シマス、是ヨリマシテ、吾々委員ト致シマシテモ、色々重要ナル意見ヲ多ク持ツテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ過般來ノ此委員會全體ヲ通じマシテ、質疑ノ場合ニ時間ヲ多ク要スル爲ニ、緊急ヲ要スル議案ニ於キマシテモ、急速ニ之ヲ決スルコトガ出來ナイ嫌ガ多クアタル上上海方面デアル毛織物業者ハ非常ニ打撃ヲ受ケテ居ル、隨テ本年七月カラ來年六月マデノ間ノ貿易割當ヲ御決定ニナル上ニ於テ、ドンナ御考ヲ持ツテ居ラレルカ、例ヘバ一年分ヲ御決定ニナルトスレバ、輸入輸入ニ付テ如何ナル對策ヲ有セラル、カ、北支事變以來、羊毛工業製品ハ輸出先ノ主

六月三十日マデノ成績ヲ以テ行キタイ、斯ウ云フ點デ決裂ニナツテ居リマスガ、當局ハ其利害得失等ニ付テドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスカ、尙ホ是ガ解決ニ付リタイト思ヒマス、ソレカラ此法案ニ依リマシテ、前議會ニ出マシタ所謂輸出統制稅ハモウ其ノ必要ガナクナツタ信ジテ居リマス、左様ニ考ヘテ宜シカ、併シ國際收

支ノ適合ヲ圖リ、特定國トノ輸出及ビ輸入ノ均衡ヲ圖ル爲ノ調節ニ關シテ——羊毛ノ質疑ニ入リマシテ、通告順ニ依ツテ發言ヲ許シマス——渡邊玉三郎君

居ルカ、斯ウ云フ點ヲ承リタイト思ヒマス、尙ホ二三點承リタイノデアリマスケレドモ、一時ニ申シマシテハ質疑ガ徹底致シマセヌノデ、以上ニ付テノ御答辯ヲ御願致シマス

○寺尾政府委員 御答ヲ申上ゲマスガ、最初ノ御質問、即ち現在日蘭間ニ於テ統制——國內ノ統制問題ニ關聯シテ種々論議サレテ居ル點ニ付テ、政府ハ今後ドウ云フ方針ヲ持ツテ行クカト云フ御尋デゴザイマス、是ハ現在兩國間ニ於テ懸案ニナッテ居ル問題デアリマス、此場合ニ於テドウ云フ方針ヲ持ツテ行クト云フコトヲ此處デ申上ゲルコトハ差控ヘタイト思ヒマス、併シ要スルニ此問題ニ付テハ、必要ナル統制方法ヲ實行シテ行ク上ニ付テ、先方ノ主張ト、日本側ノ統制ノ必要上カラ現在ヤツテ居ル所ノ種々ノ重要ナル點ニ付テ、適當ニ善處シテ行クト云フコトヲ申上ゲル以上ニ、ドウ云フ對案ヲ持ツテ向フニ臨ムカト云フコトヲ此處デ申上ゲルコトハ、差控ヘタイト思ヒマス、ソレカラ第二ノ御質問ハ、此羊毛ノ買付ニ付テ、將來ドウ云フ風ナ方針ヲ持ツテ行クカト云フ御質問、其窮極ノ御質問ノ點ガ、少シ私ニハッキリト否込メナカッタノデアリマスガ、現在ハ御承知ノヤウニ濠洲トハ一定

ノ話合ヒノ下ニ、一定ノ數量ヲ來年ノ六月マデニ買付ケルト云フコトヲ話合ヒヲシテ居ルコトハ、御承知ノ通リデアリマス、又居ル點ニ付テ、政府ハ今後ドウ云フ方針ヲ持ツテ行クカト云フ御尋デゴザイマス、是ハ適當ニ其供給先ト云フモノヲ配分スルコトノ必要ガアルト云フコトガアリマスノデ、其方針ニ付テハ今後モ適當ナル方法ニ依ツテ其方針ヲ持續シテ行クコトガ適當ト考ヘテ居次第アリマス、併シ此場合ニ於テ、然ラバ濠洲以外ノ方面カラドレダケモノヲ買付ケル方針カト云フ、具體的ノ數字ヲ御話シロト云フ御趣意デアリマスナラバ、其具體的ナ數字ヲ此處デ申上ゲルコトハ是亦現在トシテハ差控ヘタイト思ヒマス、ソレカラ現在ヤツテ居ル所ノ種々ノ御質問ハナク、濫賣其他ヲ防グ目的ヲ達スルコトガ出來ルト、斯ウ當局デハ考ヘテ居リ本ノ貿易ニ於テドウ云フヤウナ支障ガアリ、日本ノ言フコトガドウ云フ利益ガアルカ、サウ云フ點ヲハッキリ長官カラ承リタイト思ヒマス、サウ云フ點ニアリマシタ

○渡邊委員 實ハ委員長カラモ、木暮次官カラモ、初メニ御注意ガアッタノデ、成タケ簡潔ニ言ハウシテ、私ノ質問ガ徹底シナイ爲ニ御答辯ガ間違ツテ居ルト思ヒマス、長官ハ日蘭會商ノ統制問題ニ付テ、ハ言フコトガ出來ナイ、斯ウ云フ御答辯デアリマスガ、ソレハ言フコトガ出來ナイコトハアリマセヌ、日本側ト蘭商側トノ言ヒ分ハ、要スル

必要ガナイ、斯ウ云フ意味デアリマスナラバ、一寸御答申上ゲマスガ、其通リデゴザイマシテ、輸出上ノ濫賣ト云フコトヲ防グ場合ハ、多クノ場合輸出數量ノ制限ニ依ツテ是ガ防ゲルモノト考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一つハ、理論上カラ申シマスルト、ノ話合ヒノ下ニ、一定ノ數量ヲ來年ノ六月マデニ買付ケルト云フモノハ、緊急已ムヲ得ザナル工業原料ヲ、唯一國カラノ供給ニ殆ドル場合ハ別デゴザイマスケレドモ、成ベク依存シテ居ルト云フ狀態ハ面白クナイ、是ハ適當ニ其供給先ト云フモノヲ配分スルコトノ必要ガアルト云フコトガアリマスノデ、其方針ニ付テハ今後モ適當ナル方法ニ依ツテ其方針ヲ持續シテ行クコトガ適當ト考ヘテ居次第アリマス、併シ此場合ニ於テ、然ラバ濠洲以外ノ方面カラドレダケモノヲ買付ケル方針カト云フ、具體的ノ數字ヲ御話シロト云フ御趣意デアリマスナラバ、其具體的ナ數字ヲ此處デ申上ゲルコトハ是亦現在トシテハ差控ヘタイト思ヒマス、ソレカラ現在ヤツテ居ル所ノ種々ノ御質問ハナク、濫賣其他ヲ防グ目的ヲ達スルコトガ出來ルト、斯ウ當局デハ考ヘテ居リ本ノ貿易ニ於テドウ云フヤウナ支障ガアリ、日本ノ言フコトガドウ云フ利益ガアルカ、サウ云フ點ヲハッキリ長官カラ承リタイト思ヒマス、サウ云フ點ニアリマシタ

北支事變以來、日本ノ羊毛工業ハ毛織物ヲ相當ニ輸出シテ居リマシタノガ、今停頓シテ居リマス、是ハ羊毛ノ輸入ガ——昨年ノ日濠通商條約ニ於テ御決定シタ數量ハ承知シテ居リマスガ、マダ其輸入ノ方法等ガ將來ドンナ方針デ定メルカト云フコトヲ聞クノデハナクシテ、斯ウ云フヤウナ時代ニ羊毛ノ輸入ヲ餘計シマスト——一年ヲ通ジテ

五十万俵買ハナケレバナラヌコトハ分ッテ
居リマス、ソレヲ調整ヲ圖ル上ニ於テ、早く輸入シマスト、滯貨ノアル所ニ餘計多ク
ナル、サウ云フヤウナコトハ次官カラノ御
説明デアリマシタ、所謂自治統制デアリ、
又統制協議會ノ仕事デナイカト思ヒマス
ガ、サウ云フコトヲドンナ方針ヲ持ッテ進マ
レテ居ルノカ、斯ウ云フ點ヲ承リタイト思
テ質疑シタノデアリマス

尙ホ斯ウ云フヤウナ時代ニ、之ニ關聯シ
テ中小商工業者ノ要望致シマシタル商工中
央金庫ガドウ云フ効キヲスルヤウニ、政府
ハ之ニ善處セラレル積リカ、斯ウ云フコト
ヲ聞イタノデアリマスガ、御答辯ガ當ツテ居
○寺尾政府委員 御答申上ゲマス、或ハ私
ノ了解ノ仕方ガ間違ッテ居クカト思ヒマス
カラ、更ニ一應御答申上ゲマス、最初ノ
御尋ノ日蘭間ニ於テ、統制ノ方法ニ付テ彼
我ノ意見ガ異ヅテ居ル、ソレハ日本ト蘭領印
度ニ付テドウ云フ風ニ利害ガ異ルノカト云
フ御尋デアリマスガ、先程御話ノアリマシ
タヤウニ、如何ナル年度ヲ採ルカト云フ、
其年度ノ採リ方ニ差異ガアルノデアリマ
ス、ソレヲ申上ダマスト、最近ノ年度ヲ採
テ、ソレヲ標準ニシテ統制ヲヤリマスト、

最近ニ於テ蘭商ノ方ノ勢力ガ相當擴マッテ
來タ關係上、蘭商ニ有利ニナル、反對ニ過

去數箇年間ノ統計ヲ採ルト云フコトニナレ

バ、逆ニ邦商ノ方ニソレガ有利ナヤウニナッ

テ來ル、ソコデ先方トシテハ成ダケ近イ年

度ヲ基礎ニ採リ、又日本側トシテハ成ダケ

長イ——極ク最近デナク、少シ既往ニ遡

タ、數年間ヲ採ルコトガ利益ダト云フノデ、ソ

ニ利害關係ガ異リマシテ、其爲ニマダ話

ガ決ツテ居ラナイ、サウ云フ 狀況デアリマ

ス、先程ノ御尋ハ、ソレヲ何處デ方針ヲ纏

メルカト云フコトデアッタ存ジマシタカ

ラ、其點ニ付テハ目下交渉中デアリ、政府

トシテドノ點ニソレヲ一致サセルコトガ宜

速ニ金融ノ便ヲ圖ルト云フ見地カラ致シマ

シテ、商業組合、工業組合、輸出組合等ニ

付キマシテハ、出來得ルダケ其組合ノ實情

ノ副フヤウニ、言換ヘマスレバ唯其物的擔

保ト云フヤウナ點ニ重キヲ置カズニ、組合

ノ組織經營ト云フヤウナ點カラ能ク見マシ

テ、必要ナ所ニ出來ルダケ資金ヲ容易ニ融

入レルコトニ付テノ方針ニ付キマシテハ、

是ハ私ヨリ寧ロ詳シイ程、渡邊サンハ能ク

御承知ノコトデアリマスガ、統制協議會ト

云フモノガ此羊毛ニ付テ出來テ居リマスノ

デ、其統制協議會ニ於テ、只今ノ御尋ノア

リマシタコトニ付テ、遺憾ノナイヤウニ十

分考究シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリ

組合法ニモ關係シテ來マスガ、輸出スル日

ト云フモノガ今度此法ノ立前カラ出來ルノ

デスガ、ソレニ付テ長官トシテドンナ指導

日本商人ガ向フヘ出シテ居ルノデアルカ

ラ、其輸出ノ權利ハ日本商人ニアツテ宜イノ

デアルガ、サウ云フコトニナルナラバ、何

時ノ年度ヲ採リマシテモ、別段日本ニハサ

ニ居リマセヌノデ、ドウ云フ御質問デアリ

マシタカハツキリ伺ヒマセヌデシタガ、大體

商工組合中央金庫ヲドウ云フヤウナ方針デ

運用シテ行クカト云フ御尋ノヤウニ承リマ

シタガ、御承知ノヤウニ商工組合中央金庫

ハ、昨年ノ十二月カラ業務ヲ開始致シタノデ

アリマシテ、中央金庫ト致シマシテハ、中小

商工業者ニ對シマシテ出來ルダケ簡易、迅

速ニ金融ノ便ヲ圖ルト云フ見地カラ致シマ

シテ、商業組合、工業組合、輸出組合等ニ

付キマシテハ、出來得ルダケ其組合ノ實情

ノ副フヤウニ、言換ヘマスレバ唯其物的擔

保ト云フヤウナ點ニ重キヲ置カズニ、組合

ノ組織經營ト云フヤウナ點カラ能ク見マシ

テ、必要ナ所ニ出來ルダケ資金ヲ容易ニ融

入レルコトニ付テノ方針ニ付キマシテハ、

是ハ私ヨリ寧ロ詳シイ程、渡邊サンハ能ク

御承知ノコトデアリマスガ、統制協議會ト

云フモノガ此羊毛ニ付テ出來テ居リマスノ

デ、其統制協議會ニ於テ、只今ノ御尋ノア

リマシタコトニ付テ、遺憾ノナイヤウニ十

分考究シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリ

組合法ニモ關係シテ來マスガ、輸出スル日

ト云フモノガ今度此法ノ立前カラ出來ルノ

デスガ、ソレニ付テ長官トシテドンナ指導

日本商人ガ向フヘ出シテ居ルノデアルカ

ラ、其輸出ノ權利ハ日本商人ニアツテ宜イノ

デアルガ、サウ云フコトニナルナラバ、何

時ノ年度ヲ採リマシテモ、別段日本ニハサ

ニ居リマセヌノデ、ドウ云フ御質問デアリ

マシタカハツキリ伺ヒマセヌデシタガ、大體

商工組合中央金庫ヲドウ云フヤウナ方針デ

運用シテ行クカト云フ御尋ノヤウニ承リマ

シタガ、御承知ノヤウニ商工組合中央金庫

ハ、昨年ノ十二月カラ業務ヲ開始致シタノデ

アリマシテ、中央金庫ト致シマシテハ、中小

商工業者ニ對シマシテ出來ルダケ簡易、迅

速ニ金融ノ便ヲ圖ルト云フ見地カラ致シマ

シテ、商業組合、工業組合、輸出組合等ニ

付キマシテハ、出來得ルダケ其組合ノ實情

ノ副フヤウニ、言換ヘマスレバ唯其物的擔

保ト云フヤウナ點ニ重キヲ置カズニ、組合

ノ組織經營ト云フヤウナ點カラ能ク見マシ

テ、必要ナ所ニ出來ルダケ資金ヲ容易ニ融

入レルコトニ付テノ方針ニ付キマシテハ、

是ハ私ヨリ寧ロ詳シイ程、渡邊サンハ能ク

御承知ノコトデアリマスガ、統制協議會ト

云フモノガ此羊毛ニ付テ出來テ居リマスノ

デ、其統制協議會ニ於テ、只今ノ御尋ノア

リマシタコトニ付テ、遺憾ノナイヤウニ十

分考究シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリ

組合法ニモ關係シテ來マスガ、輸出スル日

ト云フモノガ今度此法ノ立前カラ出來ルノ

デスガ、ソレニ付テ長官トシテドンナ指導

日本商人ガ向フヘ出シテ居ルノデアルカ

ラ、其輸出ノ權利ハ日本商人ニアツテ宜イノ

デアルガ、サウ云フコトニナルナラバ、何

時ノ年度ヲ採リマシテモ、別段日本ニハサ

ニ居リマセヌノデ、ドウ云フ御質問デアリ

マシタカハツキリ伺ヒマセヌデシタガ、大體

商工組合中央金庫ヲドウ云フヤウナ方針デ

運用シテ行クカト云フ御尋ノヤウニ承リマ

シタガ、御承知ノヤウニ商工組合中央金庫

ハ、昨年ノ十二月カラ業務ヲ開始致シタノデ

アリマシテ、中央金庫ト致シマシテハ、中小

商工業者ニ對シマシテ出來ルダケ簡易、迅

速ニ金融ノ便ヲ圖ルト云フ見地カラ致シマ

シテ、商業組合、工業組合、輸出組合等ニ

付キマシテハ、出來得ルダケ其組合ノ實情

ノ副フヤウニ、言換ヘマスレバ唯其物的擔

保ト云フヤウナ點ニ重キヲ置カズニ、組合

ノ組織經營ト云フヤウナ點カラ能ク見マシ

テ、必要ナ所ニ出來ルダケ資金ヲ容易ニ融

入レルコトニ付テノ方針ニ付キマシテハ、

是ハ私ヨリ寧ロ詳シイ程、渡邊サンハ能ク

御承知ノコトデアリマスガ、統制協議會ト

云フモノガ此羊毛ニ付テ出來テ居リマスノ

デ、其統制協議會ニ於テ、只今ノ御尋ノア

リマシタコトニ付テ、遺憾ノナイヤウニ十

分考究シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリ

組合法ニモ關係シテ來マスガ、輸出スル日

ト云フモノガ今度此法ノ立前カラ出來ルノ

デスガ、ソレニ付テ長官トシテドンナ指導

日本商人ガ向フヘ出シテ居ルノデアルカ

ラ、其輸出ノ權利ハ日本商人ニアツテ宜イノ

デアルガ、サウ云フコトニナルナラバ、何

時ノ年度ヲ採リマシテモ、別段日本ニハサ

ニ居リマセヌノデ、ドウ云フ御質問デアリ

マシタカハツキリ伺ヒマセヌデシタガ、大體

商工組合中央金庫ヲドウ云フヤウナ方針デ

運用シテ行クカト云フ御尋ノヤウニ承リマ

シタガ、御承知ノヤウニ商工組合中央金庫

ハ、昨年ノ十二月カラ業務ヲ開始致シタノデ

アリマシテ、中央金庫ト致シマシテハ、中小

商工業者ニ對シマシテ出來ルダケ簡易、迅

速ニ金融ノ便ヲ圖ルト云フ見地カラ致シマ

シテ、商業組合、工業組合、輸出組合等ニ

付キマシテハ、出來得ルダケ其組合ノ實情

ノ副フヤウニ、言換ヘマスレバ唯其物的擔

保ト云フヤウナ點ニ重キヲ置カズニ、組合

ノ組織經營ト云フヤウナ點カラ能ク見マシ

テ、必要ナ所ニ出來ルダケ資金ヲ容易ニ融

入レルコトニ付テノ方針ニ付キマシテハ、

是ハ私ヨリ寧ロ詳シイ程、渡邊サンハ能ク

御承知ノコトデアリマスガ、統制協議會ト

云フモノガ此羊毛ニ付テ出來テ居リマスノ

デ、其統制協議會ニ於テ、只今ノ御尋ノア

リマシタコトニ付テ、遺憾ノナイヤウニ十

分考究シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリ

組合法ニモ關係シテ來マスガ、輸出スル日

ト云フモノガ今度此法ノ立前カラ出來ルノ

デスガ、ソレニ付テ長官トシテドンナ指導

日本商人ガ向フヘ出シテ居ルノデアルカ

ラ、其輸出ノ權利ハ日本商人ニアツテ宜イノ

デアルガ、サウ云フコトニナルナラバ、何

時ノ年度ヲ採リマシテモ、別段日本ニハサ

ニ居リマセヌノデ、ドウ云フ御質問デアリ

マシタカハツキリ伺ヒマセヌデシタガ、大體

商工組合中央金庫ヲドウ云フヤウナ方針デ

運用シテ行クカト云フ御尋ノヤウニ承リマ

シタガ、御承知ノヤウニ商工組合中央金庫

ハ、昨年ノ十二月カラ業務ヲ開始致シタノデ

アリマシテ、中央金庫ト致シマシテハ、中小

商工業者ニ對シマシテ出來ルダケ簡易、迅

速ニ金融ノ便ヲ圖ルト云フ見地カラ致シマ

シテ、商業組合、工業組合、輸出組合等ニ

付キマシテハ、出來得ルダケ其組合ノ實情

ノ副フヤウニ、言換ヘマスレバ唯其物的擔

保ト云フヤウナ點ニ重キヲ置カズニ、組合

ノ組織經營ト云フヤウナ點カラ能ク見マシ

テ、必要ナ所ニ出來ルダケ資金ヲ容易ニ融

入レルコトニ付テノ方針ニ付キマシテハ、

是ハ私ヨリ寧ロ詳シイ程、渡邊サンハ能ク

御承知ノコトデアリマスガ、統制協議會ト

云フモノガ此羊毛ニ付テ出來テ居リマスノ

デ、其統制協議會ニ於テ、只今ノ御尋ノア

リマシタコトニ付テ、遺憾ノナイヤウニ十

分考究シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリ

組合法ニモ關係シテ來マスガ、輸出スル日

ト云フモノガ今度此法ノ立前カラ出來ルノ

デスガ、ソレニ付テ長官トシテドンナ指導

日本商人ガ向フヘ出シテ居ルノデアルカ

ラ、其輸出ノ權利ハ日本商人ニアツテ宜イノ

デアルガ、サウ云フコトニナルナラバ、何

時ノ年度ヲ採リマシテモ、別段日本ニハサ

ニ居リマセヌノデ、ドウ云フ御質問デアリ

マシタカハツキリ伺ヒマセヌデシタガ、大體

商工組合中央金庫ヲドウ云フヤウナ方針デ

運用シテ行クカト云フ御尋ノヤウニ承リマ

シタガ、御承知ノヤウニ商工組合中央金庫

ハ、昨年ノ十二月カラ業務ヲ開始致シタノデ

アリマシテ、中央金庫ト致シマシテハ、中小

商工業者ニ對シマシテ出來ルダケ簡易、迅

速ニ金融ノ便ヲ圖ルト云フ見地カラ致シマ

シテ、商業組合、工業組合、輸出組合等ニ

付キマシテハ、出來得ルダケ其組合ノ實情

ノ副フヤウニ、言換ヘマスレバ唯其物的擔

保ト云フヤウナ點ニ重キヲ置カズニ、組合

ノ組織經營ト云フヤウナ點カラ能ク見マシ

テ、必要ナ所ニ出來ルダケ資金ヲ容易ニ融

入レルコトニ付テノ方針ニ付キマシテハ、

是ハ私ヨリ寧ロ詳シイ程、渡邊サンハ能ク

御承知ノコトデアリマスガ、統制協議會ト

云フモノガ此羊毛ニ付テ出來テ居リマスノ

デ、其統制協議會ニ於テ、只今ノ御尋ノア

リマシタコトニ付テ、遺憾ノナイヤウニ十

分考究シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリ

組合法ニモ關係シテ來マスガ、輸出スル日

ト云フモノガ今度此法ノ立前カラ出來ルノ

デスガ、ソレニ付テ長官トシテドンナ指導

方針ヲ持ッテ居ラレルカ、果シテ私ノ言フヤ
ウニ、昨年ノ下半期ノヤウニ、一年間ニハ
一定數量ダケ輸入スルノダケレドモ、現在
ノ調整ヲ圖ル上ニ於テ本年下半期ニハ少ク
輸入スルト云フヤウナ風ニ御考ニナルコト
ガ適當デアルト思フカ、ソレハ研究シテ居
ラレスカヲ御返事御願シタイ

ソレカラ中央金庫ノ問題ニ付テハ、昨年
カラ事業ヲ御開始ニナツタコトハ承知シテ
居リマス、又此三月迄ニ二百万圓ノ融資ヲ
シタコトモ承知シテ居リマス、現在二百五
十万圓ノ貸出ガアルコトモ聞イテ承知シテ
居リマス、サウ云フコトヲ承ルノデハナイ、
斯ウ云フ時局ニ對シテモウ少シ本當ノ使命
ヲ果スヤウニ、大イニ積極的ニ此中小商工
業者ノ金融ヲ圖ラケレバナラヌノデハナ
イカ、之ニ付テハドンナ御考ヲ持ッテオイデ
ニナリマスカ、サウ云フ對策ヲ承ルノデア
リマス

○寺尾政府委員 最初ノ御尋ニ付テハ、今
茲ニ詳シイ數字ヲ持ッテ居リマセヌカラ、ド
レダケノ差ガ出ルト云フコトヲ具體的ニ申
上ダルコトハ困難デアリマスケレドモ、先
程私カラ御説明申上ゲマシタ通り、其年度ヲ
如何ニ採ルカト云フコトニ依ッテ、日蘭ノ商
人ノ間ニ相當利害ノ差異ガアルト云フコト

ダケヲ申上ダテ置ク次第デアリマス、ソレ
カラ重ネテ御尋ガアリマシタ統制協議會ヲ
リマス、早ク開キタイト思ツテ居リマスノ
ガ、色々ナ事情デ遲延致シテ居ルノデアリ
マスガ、議會デモ濟ミマシタラ早々開キマ
シテ、只今御尋ノアリマシタヤウナ御趣旨
モ十分斟酌致シマシテ、速ニ適當ナル措置
ヲ執リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○黒田政府委員 商工組合中央金庫ノ今後
ノ貸出方針ニ付キマシテハ、只今御話ノア
リマシタヤウニ、出來ルダケ組合ノ實情ニ
應ジテ、簡易迅速ニ貸出ノ出來ルヤウニ努
メテ參リタイト考ヘテ居リマス

居カヌザヤナカト云フ御話ハ御尤デア
リマス、早ク開キタイト思ツテ居リマスノ
ガ適當デアルト思フカ、ソレハ研究シテ居
ラレスカヲ御返事御願シタイ

開カヌザヤナカト云フ御話ハ御尤デア
リマス、早ク開キタイト思ツテ居リマスノ
ガ、色々ナ事情デ遲延致シテ居ルノデアリ
マスガ、議會デモ濟ミマシタラ早々開キマ
シテ、只今御尋ノアリマシタヤウナ御趣旨
モ十分斟酌致シマシテ、速ニ適當ナル措置
ヲ執リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○渡邊委員 長官ノ御答辯ハ洵ニ十分デナ
イトイ思ヒマスガ、前カラ御注意ガゴザイマ
スカラ、此位ニシテ置キマス、金融ノ問題
ニ付テハドウモ御答辯ダケデハイケナイ、
此時局ト致シマシテ、殊ニ金融ノ爲ニ各方
面ニ困憊ノ聲ヲ揚ゲテ居ル、然ルニ二百五
十万圓ト云フ金額ハ、嘗テ斯ウ云フコトノ
少シモナカッタ時代、所謂預金部ガ融資金
上ダルコトハ困難デアリマスケレドモ、先
程私カラ御説明申上ゲマシタ通り、其年度ヲ
如何ニ採ルカト云フコトニ依ッテ、日蘭ノ商
人ノ間ニ相當利害ノ差異ガアルト云フコト

○黒田政府委員 商工組合中央金庫ノ現在
ノ貸出狀況ハ、此七月末デ約二百七十七万
圓位ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、今後ニ
於キマシテハ段々ト經驗ヲ積ミマシテ、又
今回道府縣及六大城市ニ於テ、損失補償制
度ヲ實行シタ場合ニ、國家ガ再補償ヲスル
ト云フ制度モ實施セラレテ居ル譯デゴザイ
マスルカラ、是ガ各府縣ニ於テ實行セラレ
マシタ場合ニ於キマシテハ、中央金庫ノ貸
出ノ方モ、之ニ依ッテ容易ニナツテ來ルコト
カト思ツテ居リマス、尙ホ中小商工業者ニ對

ルベキ金庫ノ設立ヲ多年運動シ、要望シテ
出來タ、サウシテ僅ニ五十萬圓ノ融資ガ殖
ノ銀行ヲ經由シテ融通ノ途ガ付イテ居ルノ
甚ダ遺憾ノ至リデアリマス、之ニ對シマシ
テドレダケノ金額ヲ融資スルコトガ出來得
ル立前ニナツテ居ルノカ、サウシテドンナ風
ニ改善スルカ、此時局ニ對シテ善處スルカ
ト云フコトヲモットハッキリ御答辯ヲ願ヒタ
イノデアリマス

○渡邊委員 長官ノコトモ時間ノ
節約ヲ圖ル爲ニ簡單ニ申シマス、要スルニ
繪ニ描イタ虎デアツテ、威勢バカリアツテモ、
何モ用ヲ爲シテ居ラヌ、モウ少シ本來ノ使
命ニ付テ忠實ニ御果シニナランコトヲ要望
シテ、中央金庫ニ付テハモウ終ルコトニ致
シマス、更ニ第一條第三號ニ「貿易業者ノ
不當ナル競争ニ因リ輸出品又ハ輸入品ノ海
外市場ニ於ケル價格ノ著シキ低落、又ハ騰
貴其ノ他貿易上ノ弊害ヲ生ジ又ハ生ズルノ
虞アル場合ニ於テ之ヲ矯正シ又ハ豫防セ
ントルトキ」ト云フノハドンナ場合ヲ指ス

ウ云フモノガゴザイマシテ、是ハ中央金庫
ノ外ニ興業銀行トカ、勸業銀行トカ、其他
ノ銀行ヲ經由シテ融通ノ途ガ付イテ居ルノ
デアリマシテ、商工組合中央金庫ノ仕事ト、
サウ云フ他ノ機關ノ仕事トガ、兩者相俟チ
テ行カウト云フコトニナツテ居ル次第デゴ
ザイマス、中央金庫ノ業績モ何分マダ創立
日尙ホ淺イノデゴザイマスルノデ、今後ハ
色々各方面ノ御希望、御意見等モ伺ヒマシ
テ、出來ルダケ其本來ノ設立ノ趣旨ガ達セ
ラレルヤウニ、吾タト致シマシテモ努メテ
行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマ
ス

ノデアルカ

○寺尾政府委員 第一條第三號ノ場合ハ、
ツニハ輸出品ニ關シマシテ當業者ノ間ニ
濫賣ガ行ハレル、ソレガ爲ニ海外市場ニ於
テ日本商品ノ值段ガ非常ニ下ル、ソレヲ
捨テ、置イタナラバ、延イテハ日本ノ輸出
貿易上ニ非常ナル弊害ヲ生ズルト云フヤウ
ナ場合、又此逆ニ申シマスト、輸入品ノ場
合ニ付テハ、輸入品ヲ買付ケル場合ニ、是
モ同様亂暴ナ買方ヲスル、ソレガ爲ニ必要
以上ニ輸入品ヲ吊上ゲルト云フヤウナ場合
ニ於テハ、其弊害ノ矯正、又ハ豫防ヲスル
爲ニ、第一條ノ處置ヲ執ルト云フコトニナッ
タ譯デアリマス

○渡邊委員 丁度最近當局モ御承知ト思ヒ

マスガ、人絹ノ生地輸出ノ解禁モ迫ッテ居
リマスガ、斯ウ云フ點ニ付テハ唯生地輸出
ヲスルコトガ國際貸借ノ上ニ於テ宜イコト
デアルカ、人絹聯合會ニ主張シテ居リマス
ヤウニ、完成品デナケレバ輸出シナイト云
フコトガ適當デアルカ、長官ノ御意見ヲ承
テ置キタイト考ヘマス

○寺尾政府委員 只今御尋ノ、將來人絹ノ

生地輸出ヲ許スカ許サナイカト云フ點ニ付

テデアリマスガ、其問題ニ付キマシテハ、

之ヲ許ス場合ニ、其許シタコトガ、此人絹

○寺尾政府委員 御答ヲ申上ゲマスガ、第

一ノ貿易審議會ニ付キマシテハ、先づ其組

織ト致シマシテハ、第一ニ學識經驗ヲ有ッタ

者、詳シク申シマスト、例ヘバ貴衆兩院議

員、或ハ産業貿易ニ關スル權威者及ビ學者

等ヲ含ンダ所ノ學識經驗アル者、並ニ之ニ

ノ産業ニドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フ點

等ニ付キマシテ、十分ニ利害關係ヲ考ヘマ

ル次第デアリマス

○渡邊委員 ドウモ長官ハ御答辯方上手過

ギテハッキリ結論ガ分ラナイノデアリマス

ガ、是モサウ云フヤウナ考デアルト云フコ

トヲ判然シタル御答ガ出來ルヤウニ望ンデ

居リマスガ、是モ追求セズニ置キマス、ソレ

カラ此法案ニ於テ、貿易審議會トカ、統制

協議會トカ云フモノニ付テノ構成ハドンナ

風ニナッテ居リマスカ、次官カラ簡單ナ御說

明ニハナッテ居リマスガ尙ホ承^クテ置キタ

イ、唯此際注意シタイコトハ、貿易審議會

ニ於テハ官吏ノ方ガ多イノデアリマセウ

ガ、統制協議會ニ於キマシテハ、本當ニ事

業ニ經驗ノアル者ヲ相當ニ御入レニナル必

要ガアラウト思ヒマスガ、御答辯ヲ煩シマ

リマス

○渡邊委員 此際一寸長官ニ御願シテ置キ

タイコトガアリマス、問題ハ達ヒマスケレ

ドモ、アナタニ御願シタイコトハ、高等女

學校ノ教科書ニ一宮市ガ綿織物ノ產地ダト

云フコトヲ書イテアリマスガ、サウ云フコ

トハ所謂舶來物萬能ノ夢モ覺メナイモノガ

アルカラ、毛織物ノ主產地デアル此毛織王

國一宮市ニ付テ間違^クタ教ヘ方ヲスルノハ

ルコトニナッテ居リマス、一應御答申上ゲマ

ス

○佐藤政府委員 ソレハ現在ノ法制^クテ出來

リコトニナッテ居リマス、一應御答申上ゲマ

ス

織物ノ海外ニ於ケル聲價ト云フモノニドウ

等ヲ含ンダ所ノ學識經驗アル者、並ニ之ニ

關係アル關係各省ノ官吏ト云フモノヲ加ヘ

ソレカラ工業組合方經濟團體デナク、統制

ダケヲ主トスルモノヲ考ヘルヤウニナッタ

タモノデ組織ヲ致サセル、斯様ニ考ヘテ居

ノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ付テ洵ニ

定シヨウト云フ譯デアリマス

ソレカラ第二ノ御尋ノ統制協議會ノ方ニ

シタ上デ、許スカ許サヌカト云フコトヲ決

定シヨウト云フ譯デアリマス

付キマシテハ、只今渡邊委員ヨリ御話ノア

ル次第デアリマス

リマシタヤウナ御趣意ニ基キマシテ、第二

居リマスガ、是モサウ云フヤウナ考デアルト云フコ

トヲ判然シタル御答ガ出來ルヤウニ望ンデ

居リマスガ、是モ追求セズニ置キマス、ソレ

カラ此法案ニ於テ、貿易審議會トカ、統制

協議會トカ云フモノニ付テノ構成ハドンナ

風ニナッテ居リマスカ、次官カラ簡單ナ御說

明ニハナッテ居リマスガ尙ホ承^クテ置キタ

イ、唯此際注意シタイコトハ、貿易審議會

ニ於テハ官吏ノ方ガ多イノデアリマセウ

ガ、統制協議會ニ於キマシテハ、本當ニ事

業ニ經驗ノアル者ヲ相當ニ御入レニナル必

要ガアラウト思ヒマスガ、御答辯ヲ煩シマ

リマス

○渡邊委員 此際一寸長官ニ御願シテ置キ

タイコトガアリマス、問題ハ達ヒマスケレ

ドモ、アナタニ御願シタイコトハ、高等女

學校ノ教科書ニ一宮市ガ綿織物ノ產地ダト

云フコトヲ書イテアリマスガ、サウ云フコ

トハ所謂舶來物萬能ノ夢モ覺メナイモノガ

アルカラ、毛織物ノ主產地デアル此毛織王

國一宮市ニ付テ間違^クタ教ヘ方ヲスルノハ

ルコトニナッテ居リマス、一應御答申上ゲマ

ス

○佐藤政府委員 實際ハ出來ナイノデス、例ヘ

バ愛知縣地方ニ於キマシテハ尾州組合ト
マシテ、同業組合ノ中ニ工業組合ガ二ツモ
ニ行カナイ組合ガ現在澤山アルト思ヒマ
ス、殊ニ現在ノ愛知縣ノ組合ノ例ヲ申シマ
シテハドウカト思ヒマスガ、或ル組合ノ如
キハ同業組合ト工業組合トヲ一ツニシテ、
ソコニハ綿ノ工業組合ガアリマシテ、同業
組合ニハ毛織業者モ含ンデ居リマス、サウ
シテ同業組合ノ組合長ハ工業組合ノ理事長
デアル、斯ウ云フヤウニシテ組合員ハ二ツ
ニ分レテ居ル、斯ウ云フノデアリマスカラ、
色々仕事ヲスル上ニ於テモ極メテ不便ガ多
イ、吾々ハ多年工業組合ノ出來ナイ前カラ
同業組合ノ單行法ヲ設ケテ、サウシテ斯様
ナコトヲ防止サレルコトヲ當局ニ要望シタ
時代ガアリマシタケレドモ、果シテ今日デ
ハ隨分地方ニ依ッテハ困ッテ居ル所ガアルト
思ヒマス、サウ云フヤウナ例ヘバ綿モ、毛
モ、人絹モ總テ打ッテ一丸トシタヤウナ工
業組合ガ何處ニアリマスカ、實例ガアリマ
シタラ御教ヲ願ヒタイト思ヒマス

合が先ニ出来マシテ、其後工業組合が出来タノデアリマスガ、工業組合が出来マシテ、同業組合ガ止メナイデ居ルノガ今アリマス、サウスルト二重ニ關係シテ居ルノガ各地ニアル、ソレデ様々ノ問題ガ起ツテ居ルト云フ話モ聞イテ居リマスガ、其爲ニ同業組合ヲ止メテシマフ程ノ必要モナイノデハナイカト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 佐藤政府委員ノ御答辯ハ實際ニ於テハサウ云フノガナイト云フ御話デアリマスガ、ソレガ甚ダ困ルノデス、各地ニ於テ相割摩擦ヲ生ジテ居リマス、サウシテ今ノヤウナ立前デアリマスカラ、一つノ織物業者ガ同業組合ニモ入り、其製品ニ依ツテ

ハ綿工業組合ニモ入り、毛ノ組合ニモ入り、
又「ステープル」ノ工業組合ニモ入り、同ジ
地方デ一人デ三ツモ四ツモノ組合員ニナラ
ザルヲ得ヌト云フコトガアリマシテ、却テ
ソレガ爲ニ相剝摩擦ヲ生ズル、斯ウ云フ點
ニ付テ將來何トカ御考ニナラナケレバナラ
ヌト思フノデアリマスガ、殊ニ同業組合ニ
付キマシテハ多年ノ慣例ニ依ツテ同業組合
デ發達シテ居ルモノガアリマスガ、之ニ付
テモドンナ御考ヲ持ツテ居ルカ、其點委員長
ヨリ特ニ御許ヲ願ツテ、美濃部課長カラ御答

○美濃部商工書記官 只今私ニ御指名ガヨ
邊サンモ御存知ノ通り、只今ノ工業組合法
第一條ノ但書ニ依リマシテ綿、毛其他ノモ
ノモ設立ハ可能ニナッテ居リマス、併シ御存
知ノヤウニ既ニ一定ノ過程ヲ經マシテ發達
シマシタ現在ノ組合ヲ整理統合スルト云フ
問題ハ、仰シヤル通り非常ニ必要ナコトト
ハ考ヘマスガ、各々ノ組合ニ付テ個々ノ歴史
ヲ持チ、傳統ヲ持ツテ居リマスノデ、俄ニテ
ヲ實行スルコトハ相當困難ガ伴ヒマス、此
テモ研究致シマシテ適當ニ處置シタイト者
點ニ付キマシテハ十分吾々ノ方ト致シマシ
テ居リマス

○美濃部商工書記官 只今私ニ御指名ガヨ
ザイマシタカラ私カラ御答申上ゲマス、渡
邊サンモ御存知ノ通り、只今ノ工業組合法
第一條ノ但書ニ依リマシテ綿、毛其他ノモ
ノモ設立ハ可能ニナツテ居リマス、併シ御存
知ノヤウニ既ニ一定ノ過程ヲ經マシテ發達
シマシタ現在ノ組合ヲ整理統合スルト云フ
問題ハ、仰シャル通り非常ニ必要ナコトト
ハ考ヘマスガ、各々ノ組合ニ付テ個々ノ歴史
ヲ持チ、傳統ヲ持ツテ居リマスノデ、俄ニテ
ヲ實行スルコトハ相當困難ガ伴ヒマス、此
點ニ付キマシテハ十分吾々ノ方ト致シマシ
テモ研究致シマシテ適當ニ處置シタイト者
ヘテ居リマス

○倉元委員 成ベク簡潔ニ御尋ヲ致シマス
ガ、御答ノ次第ニ依リマシテハ、或ハ多少
時間ヲオ貰ヒシナケレバナラヌカト思ヒマ
ス、本法案ノ中デモ貿易及關係產業ニ關ス
ル法律案ハ、國民ノ生活ト至大ナル關係ノ
アル法案デアリマシテ、私共モ慎重ニ審議
ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス、併シ委
員長カラ御注意ノ點モアリマスカラ、成ル
ベク省略致シマシテ、要點ダケヲ申述ベマ
シテ答辯ノ要領ヲ得タイト思ヒマス、私ノ
第一ニ御尋致シタイコトハ、先程渡邊君ノ
御尋ニモアリマシタヤウデアリマスガ、審
議會ノ性質、内容デゴザイマス、斯ウ云フ
法案ノ一つノ参考トシテ政府ガ民間ノ意見
デモ御聽キニナルト云フ場合ニハ、多クハ
諸問ノ機關ガ要ルト思ヒマスガ、此貿易審
議會ト云フモノハ、法文ヲ讀ミマスト議決
機關ニナシテ居ルヤウニ私共ニハ見エルノ
デアリマス、諸問機關デアリマスカ、議決
機關デアリマスカ、其點ヲ先づ伺ツテ置キタ
イト思ヒマス

ニ、再ビ審議會ニ掛ケテ其議決ヲ經ナケレバ執行スルコトガ出來ナイト云フコトハ、餘リニ私ハ時代離レノシタ感ガアルノデアリマス、諸問機關ディケナイト云フ政府ノ御理由ハドウ云フ所ニアルノデアリマスカ律ハ相當廣汎ナル範圍ニ互リマシタ委任立法デアリマスノデ、是ガ運用ニ誤ナカラシムル爲ニ貿易審議會ノ議ヲ經ルト云フコトニ致シマシタ次第アリマス、從來他ノ法律ニモヤハリ是ト同ジヤウニ一定ノ機關ノ議決ヲ經ルコトヲ必要トシタ規定ガゴザイテ、其規定ノ運用ノ實際ニモ鑑ミマシテ、本案ノ如キ極ヌテ廣汎ナル範圍ニ互ツテ委任立法ヲ致シテ居ルモノハ、斯様ナ機關ノ議決ヲ經ルコトスルコトガ適當デアラウ、又左様ニ致シマシテモ實際ノ運用ニ依リマシテ圓滑ニ之ヲ運用シテ參ルコトが出来ルデアラウト云フ考ノ下ニ、貿易審議會ノ議決ヲ經ルト云フコトニ致シタ次第アリマス

○倉元委員 是ハ國民生活ノ廣イ範圍ニ互ルコトデアリマスカラ、御尤ナコトノヤウニモ考ヘマスガ、併ナガラ一面カラ申上ゲルト、ソレダケ迅速ヲ尙バナケレバナラヌト思フ、又之ヲ御執行爲サル事柄ノ内容ソ

害ガ作フト私共ハ見テ居ル、ソレガ再ビ其審議會ニ掛ツテ、其議決ニ依ツテ其執行ニ移ツテ行クト云フコトハ、例ヘバ今渡邊君ノ御質問ノヤウニ、政府ガ御豫定ニナッテ居ル委員會ノ組織ノ内容、是等ニ付キマシテモノ申上ゲタイト思ツテ居リマスガ、此機會後デ御尋シタイト思ツテ居リマスガ、此機會ニ申上ゲタイト思ヒマス、其内容ガ當業者ニアリ、或ハ其業態ノ或ル組合ノ組合長デアリ、即チ其事業ト利害關係ヲ持ツ人ガ此中ノ委員デアルト云フ場合ニハ、此審議會ヲ開會スル前ニ當ツテ、豫メ政府ハ此議決事項ノ内容ニ瓦ル通牒ヲ發スルモノト私ハ思フ、斯ウ云フ場合ニ事前工作ガ行ハレルコトハ明々白々タル事實デアリマス、是ハ又後カラ詮議立ラシマシテモ中々分ルコトデンシ、面倒な問題ニナルコトガ多イ、ソレガ爲ニ善良ナル他ノ當業者ガ非常ニ損害ヲ被リ、打擊ヲ被ル、斯ウ云フ場合ガ想像セラル、ノデアリマス、私ノ申上ゲル趣旨ハ、成ベク斯ウ云フ非常立法デ斯ノ如ク時代ヲ五箇年ナラ五箇年ニ限ツテ御執行爲サル法律デアル以上ハ、政府ヲ信賴シテ、議會ハ委任命令ニ譲ツテ此事ハ御任セスル、ソレナラバ政府ハ所信ニ向ツテ斯ウ云フコトハ御断行爲サル方ガ國家ノ實情ニ私ハ適スルト

○寺尾政府委員 只今ノ御質問ハ洵ニ御尤ト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、併シ政府ガ貿易審議會ト云フモノヲ設ケマシテ、第一條及ビ其他ノ規定ヲ適用スル時ニ當リマシテ、其議決ヲ經ルコトヲ必要ト致シタ趣旨ニ付キマシテハ、先程御答ヲ申上ゲタ通信デアリマスガ、併シ斯様ニ致シマスル結果ニ付キマシテハ、先程御答ヲ申上ゲタ通信デアリマスガ、併シ斯様ニ致シマスル結果ニ付キマシテ、今御話ノアリマシタヤウナ各種ノ面白カラヌ弊害ガ生ズルト云フコトモ十分考慮致サナケレバナラスコトハ洵ニ御尤ナ次第ト考ヘルノデアリマス、唯其點ニ付キマシテハ先程モ繰返シ申上ゲマシタ通議決ヲ經ルコトスルコトハ、前申シマスルノ面ナ比率デ組織スルノダト云フコト、豫メ御示シ願ヘレバ結構デアリマス、何故私ハサウ云フコトヲ申スカト云フト、本來ナラバスウ云フ場合ハ度々議會ヲ御開キニナッテ、其都度私達ニ譲ツテ戴キタイト思フ位ニ考ヘルノデアリマスガ、前申シマスルヤウナ時節柄ノコトデアリマスカラ、全部スウ考ヘテ居ル位デ、私ノ立場カラ言ヘバ、政府ヲ信任シテ、其執行ニ御當リ願ヒタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマスカラ、成ルベシノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマシタ通議決ヲ經ルコト、致シタノデアリマスガ、併シ委員ノ構成等ニ付キマシテハ先程渡邊サク此貴賛兩院——帝國議會ノ議員ト云フモリ、此委員ノ中ニ當業者ノ代表ト云フヤウナ者ヲ加ヘルト云フコトハ考ヘテ居リマセシアルト云フ點ニ鑑ミテ、此貿易審議會ノ議決ヲ經ルコト、致シタノデアリマスガ、併シ委員ノ構成等ニ付キマシテハ先程渡邊サク此貴賛兩院——帝國議會ノ議員ト云フモノヲ御尊重願ヒタイト私ハ思フ、大體ドウ云フ風ナ御比率ニナルモノデアルカ、ソレヲ先ヅ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 御答ヲ申上ゲマスガ、先程モ一寸渡邊サンノ御質問ニ對シテ御答申

レ自身ガ最モ迅速ニ行カナケレバ或種ノ弊害ガ作フト私共ハ見テ居ル、ソレガ再ビ其審議會ニ掛ツテ、其議決ニ依ツテ其執行ニ移ツテ行クト云フコトハ、例ヘバ今渡邊君ノ御質問ノヤウニ、政府ガ御豫定ニナッテ居ル委員會ノ組織ノ内容、是等ニ付キマシテモノウ一應其點ヲ確メテ置キタイト思ヒマス

○倉元委員 甚ダ内容ニ立入りマシテ御迷惑ダト思ヒマスガ、御差支ナケレバ大體ノ御見込ダケデモ宜シウゴザイマスガ、此構成ノ比率ヲドウ云フ風ナ方面カラ、大體委員ト云フ者ヲ何人採ツテ、其比率ハ斯ウ云フ風ナ比率デ組織スルノダト云フコト、豫メ御示シ願ヘレバ結構デアリマス、何故私ハサウ云フコトヲ申スカト云フト、本來ナラバスウ云フ場合ハ度々議會ヲ御開キニナッテ、其都度私達ニ譲ツテ戴キタイト思フ位ニ考ヘルノデアリマスガ、前申シマスルヤウナ時節柄ノコトデアリマスカラ、全部スウ考ヘテ居ル譯デアリマスカラ、成ルベシノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマシタ通議決ヲ經ルコト、致シタノデアリマスガ、併シ委員ノ構成等ニ付キマシテハ先程渡邊サク此貴賛兩院——帝國議會ノ議員ト云フモノヲ御尊重願ヒタイト私ハ思フ、大體ドウ云フ風ナ御比率ニナルモノデアルカ、ソレヲ先ヅ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 只今ノ御質問ハ洵ニ御尤ト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、併シ政府ガ貿易審議會ト云フモノヲ設ケマシテ、第一條及ビ其他ノ規定ヲ適用スル時ニ當リマシテ、其議決ヲ經ルコト、致シタノデアリマスガ、併シ委員ノ構成等ニ付キマシテハ先程渡邊サク此貴賛兩院——帝國議會ノ議員ト云フモノヲ御尊重願ヒタイト私ハ思フ、大體ドウ云フ風ナ御比率ニナルモノデアルカ、ソレヲ先ヅ伺ツテ置キタイト思ヒマス

カ、利害ノ爲ニ此規定ヲ發動シナイト云フ
風ナ意味デアリマス、是ハ實例ニ付テ、マ
ア一應申上ゲタ方ガ分ルカト思ヒマスガ、
例ヘバ茲ニ重要物資ト云フ一つノ例ト致シ
マシテ、鐵ト鐵工作機械ト云フ風ナモノガ、
内外ノ情勢ニ鑑ミテ、是等ノモノガ是非國
内ニ完全ニ保有セラレル必要ガアル、是ガ
海外ニ出テ行クト云フコトヲ抑ヘヨウト云
フ場合ガ生ジタト致シマスト、詰リ鐵トカ
工作機械ト云フ風ナモノハ、全部ノ此國民
カラ、ソレヲ國外ニ、自然ニ放任シテ置ケ
バ出ルノヲ抑ヘルト云フコトハ、唯單ニ一
部分ノ、一つノ業者ノ利害ニ係ルトカ、或
ウナ問題デハナクシテ、廣ク一般ノ國民經
濟ノ上ニ重大ナル影響ヲ持ツコトニナル、
サウ云フ意味ニ於テ此鐵トカ工作機械ト云
フ風ナモノノ重要ナ物資ノ輸出ト云フモノ
ヲ一つ抑ヘル、サウ云フ風ナ意味ニ於キマ
ス

○倉元委員 是ハ今ノ御話ニ依リマスト云
フト、或ハ此國內カラ見タ產業上、軍事上
重要ナモノニ付テ行フ、ソレヲ大體ノ目安

ニスルト云フ意味ニモ取レルノデアリマス
カラ、サウ致シマスナラバ、此重要物資ト
云フ之ヲ明示セラレタラドウカ、是々ノモ
ノハ其動キニ依ツテ國民經濟ノ健全ナル發
達ヲ阻碍シ、阻止スルヤウナ場合ニハ、此
法律ガ發動スルト云フコトヲ、國民ガ、或
ハ當業者ガ豫見シ得ラレルヤウニ其品目ヲ
御明示ナサルコトガ必要デヤナイカト私ハ
思ヒマス、此點ニ付テハ如何デスカ
○寺尾政府委員 大體考ヘテ居リマス所ノ
狙ヒ所ト致シマシテハ、國民經濟ノ、此全
體的ノ見地カラ見マシテ其國民經濟ノ健全
ナル發達ヲ圖ル爲ニ、重要ナル物資ト云フ
モノヲ此處デ意味シテ居ルト云フコトデア
リマスカラ、大體ニ於キマシテ此產業ノ發
達デアルトカ、國民生活ノ安定デアルトカ、
或ハ國防ノ安固ヲ圖ルト云フ意味カラシ
テ、必要ナル重要性ト云フ意味ニ解釋ヲ致
シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ例示シテ申
上ゲマスナラバ、只今御説明申上ゲタ鐵、
工作機械ト云フモノハ、勿論其重要物資ノ
中ニ含マレルト存ジマスガ、更ニ尙ホ羊毛
ト云フ風ナ如キモノモヤハリ今申上ゲタ重
要物資ノ中ニ含マレルト思フノデアリマ
ス、尙ホ其他ニ重要物資ノ中ニ何ガ含マレ
ルカト云フコトニ付テハ、尙ホ他ニ品目モ

ニスルト云フ意味ニモ取レルノデアリマス
カラ、サウ致シマスナラバ、此重要物資ト
云フ之ヲ明示セラレタラドウカ、是々ノモ
ノハ其動キニ依ツテ國民經濟ノ健全ナル發
達ヲ阻碍シ、阻止スルヤウナ場合ニハ、此
法律ガ發動スルト云フコトヲ、國民ガ、或
ハ當業者ガ豫見シ得ラレルヤウニ其品目ヲ
御明示ナサルコトガ必要デヤナイカト私ハ
思ヒマス、此點ニ付テハ如何デスカ
○寺尾政府委員 大體考ヘテ居リマス所ノ
狙ヒ所ト致シマシテハ、國民經濟ノ、此全
體的ノ見地カラ見マシテ其國民經濟ノ健全
ナル發達ヲ圖ル爲ニ、重要ナル物資ト云フ
モノヲ此處デ意味シテ居ルト云フコトデア
リマスカラ、大體ニ於キマシテ此產業ノ發
達デアルトカ、國民生活ノ安定デアルトカ、
或ハ國防ノ安固ヲ圖ルト云フ意味カラシ
テ、必要ナル重要性ト云フ意味ニ解釋ヲ致
シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ例示シテ申
上ゲマスナラバ、只今御説明申上ゲタ鐵、
工作機械ト云フモノハ、勿論其重要物資ノ
中ニ含マレルト存ジマスガ、更ニ尙ホ羊毛
ト云フ風ナ如キモノモヤハリ今申上ゲタ重
要物資ノ中ニ含マレルト思フノデアリマ
ス、尙ホ其他ニ重要物資ノ中ニ何ガ含マレ
ルカト云フコトニ付テハ、尙ホ他ニ品目モ

アルト思ヒマスガ、今此處デ是ダケノ物資
ニ限ルト云フコトヲ制限的ニ申上ゲマスコ
トハ、一寸其準備ガゴザイマセヌノデ、大
體精神ハサウ云フ風ナ意味ノ物資ヲ指スノ
ダト云フコトデ御諒承ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス
○倉元委員 御趣旨ハ能ク分リマシタケレ
ドモ、私ハ其物資ノ品目ヲハッキリ國民ニ御
示シニナル必要ガアル、斯ウ云フコトヲ私
ハ申上ゲテ御意嚮ヲ承ツタ譯ナンデス、其點
ハ今御答ナカツタノデアリマス、ソレヲ御答
ガ出來レバ戴イテ置キタイト思ヒマス、ソ
レカラ此重要物資デアリマスガ、軍需品ハ
如何デセウ、是モ私ハ斯ウ云フ風ナ御取扱
ニナル以上ハ、軍需品ト雖モ此法律ノ適用
カラ免カレル譯ニ行カヌト思フノデスガ、
別ニ一項御拘ヘニナルヤウナ御考ハアリマ
セヌカ、此儘其中ニ入ルンダト云フ御意見
デアリマセウカ、如何デセウ
○寺尾政府委員 大體此重要物資ノ中ニハ、
此法律トシマシテハヤハリ今御話ノアリマ
シテ茲ニ「國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル
爲」云々ト云フ規定ヲ設ケマシタノデアリ
マス
○寺尾政府委員 委員會ノ中ニヤハリ第一
條ノ第四號ノ關係ガ問題ニナルヤウナ場合
ニハ、サウ云フ事態ガ發生致シマシタ場合
ニハ、其重要物資關係ニ於テ必要ナル發言
權ヲ持ツ者ヲ、其委員ノ中ニ必要ニ應ジテ
臨時ニ加ヘルト云フコトガ必要デアラウ

ト考ヘテ居ル次第アリマス

○倉元委員 是ハ前ニ御尋申上グベキデア

リマシタガ、順序ガ違ツテ甚ダ……「貿易ニ
關スル條約又ハ之ニ準ズベキモノニ依リ」
ト書イテアル、サウスルト今ノ既存ノ條約
ハ勿論異論ノナイコトデアリマスガ、將來
締結セラル、所ノ貿易ノ條約ニ關シテモ亦
之ニ準ズベキモノニ關シテモ、此適用ヲ受
ケルト云フコトデアリマセウカ

○寺尾政府委員 第一條第一號ノ趣意ハ、

貿易ニ關スル條約又ハ之ニ準ズベキモノノ
現在存在シテ居ツテ、ソレニ基イテ貿易ヲ調
節セントスルトキ、斯ウ云フ趣意デアリマ
シテ、御話ニアリマシタヤウニ將來結ブベ
キ條約ト云フコトニ關スル限リデハナイン
デアリマス

○倉元委員 ソレデハ今御答ノ御言葉ノ中

ニアリマシタヤウニ、私共ハ之ニ準ズベキ
モノニ基キトアルコトガ適當デナイカト思
フ、サウデナイト此條文ノ書キ方ハ解釋ノ
仕方ニ依リマシテハ、將來ニモ懸カッタヤウ
ナ氣持ヲスルヤウナ譯ナンデアリマシテ、
ツイサウ云フ御尋ヲシタ譯デゴザイマス、
是ハ私共ノ權限デ修正シヨウガシマイガド
ウデモナリマスガ、基キト御書ギニナラヌ
ト、サウ云フ迷ヒヲ生ジマス、成ベクスウ

云フ國民經濟ニ密接ナ關係ノアル法文ハ、
ハツキリ平易ニ國民ガ知リ易イヤウニシテ
戴キタイト思フノデアリマス、ソレカラ第
二號ハ是亦問題デヤナイカト思フ、國際收
支ノ適合ヲ圖リ」ト云フ、此適合ト云フノハ
ドウ云フコトヲ言フノデスカ、國際收支ノ
均衡ト云フ意味トハ又違テ來ルノデアル
ノカ、イヤソレハ均衡ト云フ意味ヲ、斯ウ
云フ風ナ文字ニ書キ現シタノダト云フ御積
リデ御書キニナツタノカ、ソレカラ前段ノ
「國際收支ノ適合ヲ圖リ又ハ」カラ下ノ「特
定國トノ輸出及輸入ノ均衡ヲ圖ル爲貿易ヲ
調節セントスルトキ」ト、是ハニツノ場合デ
アリマスケレドモ、特定國トノ輸出及輸入
ノ均衡ヲ圖ルト云フ場合ト、國際收支ノ適
合ヲ圖ル場合ハ全然別ノモノデアリマセウ
ネ

○寺尾政府委員

御答ヲ申上ゲマス、最初
ニ御尋ノゴザイマシタ「國際收支ノ適合ヲ
圖リ」云々ト云フコトハ、ドウ云フ意味ダ
ト云フ御尋ニ御答ヲ申上ゲマスガ、國際收
支ノ適合ト云フコトハ、貿易上ノ收支竝ニ
支ノ適合ト云フコトハ、ドウ云フ意味ダ
ト云フ場合ニ先方ニ對スル輸出ヲ制限致シマ
スルト云フコトハ、結局ハ外國ト或ル協調
的ノ立場ニ於テ、其甲ナラ甲ト云フ國トノ
貿易輸出入ノ均衡ヲ圖ルト云フ目的ノ爲ニ
失ハレルノデアリマス、此二號ノ前段ニア
リマスヤウナ國全體ノ國際收支ノ適合ヲ圖
ルト云フ場合ト違ヒマシテ、日本ト特定國

ト云フ場合ニ處スル規定ニナツテ居リマス
ト云フコトハ中々望ミ難イ所デアラウト思
ヒマスガ、貿易外收支ノ狀態ヲモ考慮致シ
マシテ、國際收支全體ヲ適度ニ均衡ノ狀態
ニ置クト云フ爲ニ、必要ニ應ジテ貿易ヲ調
節スルト云フ意味デゴザイマス、ソレカラ
第二號ノ後段ノ方ノ「特定國トノ輸出及輸
入ノ均衡ヲ圖ル爲」トアリマスノハ、是ハ
マセウガ、中々是ハ難カシイ問題デアリマ
ス、政府ノ見方ニ依ツテ、ドウモ是ハ國際收
支ノ適合ニ適ハナイ、是ハ直グニ此法律ヲ
發動シテヤラナケレバナラヌ、所ガ民間ノ
貿易ノ全體ノ收支ト云フコトト關係ゴザイ
マセヌデ、例ヘバ甲ト云フ國ニ對シテ日本
ノ國ガ非常ニ出超ニナツテ居ル關係上、先方
シタ際ニ、其買付增加ノ爲ニ相當ニ努力ヲ
付ヲ增加シテ吳レト云フ風ナ要求ガアリマ
シテシマスト同時ニ、又必要ニ依リマシテハ
コチラカラ先方ニ出シマス輸出ト云フモノ
ヲ、或ル程度マデ制限ヲスルト云フ風ナ事
態ヲ生ズル場合ガアルノデアリマス、サウ
云フ場合ニ先方ニ對スル輸出ヲ制限致シマ
スルト云フコトハ、結局ハ外國ト或ル協調
ノ振興ヲ圖ル上カラモ、當業者ガ之ヲ始終
頭ノ上ニ置イテ置クト云フコトガ、極メテ
必要ナ事ノヤウニモ私共ハ考ヘマス、況ヤ
スウ云フ法律ガ發動シテ行ク時ニナレバ、
不測ノ損害ヲ被ル場合ヲ生ジマスカラ、豫
メ貿易上ノ狀態ヲ當業者ガ知ツテ置ク、頭ニ
何時モ置クコトガ出來ル一つノ方法ヲ御與
ヘ下サルト云フ御親切ナ取扱ガ出來ルナラ
バ、極メテ私ハ結構ダト思フノデスガ、如
何デスカ

○寺尾政府委員 淳ニ御尤ナ御尋ト存ジマ

ウ云フ場合ニ處スル規定ニナツテ居リマス

○倉元委員 第一段ノ國際收支ノ適合ヲ圖
ルヤウナ問題ハ、是ハマア注意ヲスル者ニ
ハ大體豫見モセラレマセウシ、豫想モ出來
マセウガ、中々是ハ難カシイ問題デアリマ
ス、政府ノ見方ニ依ツテ、ドウモ是ハ國際收
支ノ適合ニ適ハナイ、是ハ直グニ此法律ヲ
發動シテヤラナケレバナラヌ、所ガ民間ノ
貿易ノ全體ノ收支ト云フコトト關係ゴザイ
マセヌデ、例ヘバ甲ト云フ國ニ對シテ日本
ノ國ガ非常ニ出超ニナツテ居ル關係上、先方
シタ際ニ、其買付增加ノ爲ニ相當ニ努力ヲ
付ヲ增加シテ吳レト云フ風ナ要求ガアリマ
シテシマスト同時ニ、又必要ニ依リマシテハ
コチラカラ先方ニ出シマス輸出ト云フモノ
ヲ、或ル程度マデ制限ヲスルト云フ風ナ事
態ヲ生ズル場合ガアルノデアリマス、サウ
云フ場合ニ先方ニ對スル輸出ヲ制限致シマ
スルト云フコトハ、結局ハ外國ト或ル協調
ノ振興ヲ圖ル上カラモ、當業者ガ之ヲ始終
頭ノ上ニ置イテ置クト云フコトガ、極メテ
必要ナ事ノヤウニモ私共ハ考ヘマス、況ヤ
スウ云フ法律ガ發動シテ行ク時ニナレバ、
不測ノ損害ヲ被ル場合ヲ生ジマスカラ、豫
メ貿易上ノ狀態ヲ當業者ガ知ツテ置ク、頭ニ
何時モ置クコトガ出來ル一つノ方法ヲ御與
ヘ下サルト云フ御親切ナ取扱ガ出來ルナラ
バ、極メテ私ハ結構ダト思フノデスガ、如
何デスカ

○倉元委員　此貿易管理法ノ運用ノ上カラ考ヘマシテ、今回ノ此法案ニ現ハレテ居ル、コッチデモヤル、兩建ニナッテ此仕事ガ一部分行ハレテ行ク嫌ガアルト私ハ思フノデアリマス、此點ハドウ云フヤウナ調整ヲ御圖リニナツテ行クノデアルカ、爲替管理法ノ方ハ爲替局ノ方デヤツテ居リマス、此關係ノ部分ノ仕事ヲアタノ方へ御移管ニナルモノデアルカ、之ヲ一ツ承リタイ

○寺尾政府委員　大藏省ニ於キマシテ此爲替管理ノ許可ヲヤツテ居リマスノハ、大體其考ヘノ主眼ト致シマス所ハ、資金ノ移動ト云フコト、ソレカラ爲替ノ維持ト云フダケノ著眼點カラヤツテ居ル譯デアリマス、此法律ノ關係カラ、場合ニ依ツテ輸入ヲ制限スルト云フ風ノ事柄ハ起ツテ來ルコトト思ヒマスガ、此法律ノ關係ニ於テ、大藏省ノ爲替管理ト直接打突カシテ參リマスノハ、詰リ國際收支ノ適合ヲ圖ルト云フ意味ニ於テ、輸入ヲ制限スルト云フ場合ガ、丁度御尋ノ場合ダラウト考ヘマスガ、其場合ニハ本法ノ關係ニ

ト云フ立前ニナラウト思ヒマス、隨ヒマシテ大藏省ノ方ノ爲替維持、其他ノ見地カラシテハ商品ノ生産關係、輸出入關係ト云フモノカラ見マシテ、之ヲ適當ニ管理スルト云フ立前デ行クノデアリマス、併シ國際收支ノ均衡ヲ圖ルト云フ意味カラ行ケバ、目的ニ於テ一致シテ處スル場合ガ起ツテ參リマスルノデ其際ニ於キマシテハ商工省ト大藏省トガ完全ニ話合ヲ致シマシテ、其ニツノ業法ガオ互ニ扞格ヲ生ジナイヤウニ、十分ニ協調シテヤツテ行キタイト思ヒマスシ、又ヤツテ行クコトガ出來ルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、爲替管理ノ方デハ、爲替ノ許可ダケヲ押ヘルノデアリマスルカラシテ、其爲替ヲ許可シタ以後ニ於テ、ソレガ國內ノ配給其他ニドウ云フ關係ヲ及ボスカト云フコトマデヲ見届ケテ、ソレヲ然ルベク「アジャスト」スル、ソレヲ統制スルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、併シ此法律ノ關係ニ於キマシテハ、或ル必要ナル輸入品ニ付テ輸入ノ制限ヲ致シマシタ場合ニ、此輸入ヲ制限致シマシタ物ヲ其輸入者ト、ソレカラ之ヲ使用スル所ノ製造者トノ間ニ適當ニ配分シテ、其供給ヲ統制スルト云フ

ヒマス、又ソレハ必ズヤラナケレバナラ又ト思ヒマスガ、唯其商品ダケカラ見ルト云フ譯ニモ、爲替維持其他ノ關係カラ行クマイト思ヒマス、商工省ノ商品ダケカラ見タ輸入統制ノ關係ト、大藏省ノ爲替關係カラ見マシタ爲替管理トガ、兩々相俟ッテ協調シテヤツテ行クコトガ必要デアリ、又十分方法ニ依リマシテハ完全ニ其協調ガ出來ルト思ヒマス、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス○倉元委員 少クトモ今御答ニナリマシタ内容ニ付テ考ヘマスルト、貿易長官ノ手許ニ大藏省ノ爲替局ノ仕事ト云フモノヲ御纏メニナルコトガ、私ハ合理的ダト思フ、片方ハ唯機械的ニ仕事シテ行カナケレバナラヌ、アナタノ方ノ描カレル圖ニ依ツテ向フハ墨ヲ塗ツテ行ケバ宜イ、是ダケノ話デアル、ソレヲ離シテ役所ヲ二ツニシテ置イテ、其都度電話ヲ掛けタリ、往々タリ來タリシテ居ル、ソレデハ當業者ニ非常ニ面倒ガ起ルノデス、必ズ當業者カラ苦情ガ出マスカラ、ドウカ一ツ政府ニ於カレマシテモ、此調査ハ慎重御協議ノ上、アナタノ御手許ニ御纏メ願ヒタイト私ハ思フ、此希望ヲ私ハ重ク付ケテ、私ノ質問ハ大體終リマスケレドモ、最後ニ一點是ハ法文ノ問題デアリマスガ、

争ニ因リ輸出品又ハ輸入品ノ海外市場ニ於ケル價格ノ著シキ低落又ハ騰貴其ノ他貿易上ノ弊害ヲ生ジ云々ト斯ウアルノデスガ、是ハモウ少シ分リ易ク御書キ下サル譯ニハ行カヌデセウカ、是ハ一本建ニ――貿易業者ノ不當ナル競争ニ因ル輸出ノ場合ト輸入ノ場合、輸入ヲ不當ニ競争ヲ始メルト云フト是ハ騰貴スル、輸出ヲ海外市場ニ於テ不當ナル競争ヲスレバ暴落ニナル、デスカラ此二ツノ道シカ迎ラナイモノト思ヒマスカラ、斯ウ云フ書キ方ニシマスト、兩方ニ引掛けテアルヤウニ思ハレ、此法律ヲ見ル者ハ非常ニ迷ヒマス、モウ少シ簡便ニ分リ易イヤウニ御書キ直シ願ヒタイト私ハ思ヒマス、以上ヲ以テ私ハ質問ヲ打切リマスガ、尙ホ他ノ方々ノ御質問ヲ承リ、其時間ノ餘裕ニ依リマシテハ、又私モ聞キタイコトガアリマスカラ、委員長ニ於カレテ再ビ私ノ立ツコトヲ御許アランコトヲ申上ゲテ、私ハ打切りマス

ヲ施サレルヤウニナリマシタ今日ニ於キマシテハ、斯ル調整方法ノ確立セラルコトヲ要致シテ居ツタノデアリマス、此度斯ウ云フ法案ガ、議會ヲ通ジ世ニ現ハレルヤウニナリマシタコトハ、洵ニ吾々トシテハ欣快ニ堪ヘナイ所デアリマス、唯私ハ此法案全體ヲ總括的ニ見マスル時ニ、輸出ノ調整、貿易ノ統制、生産工業ノ統制、サウ云フヤウナ統制ト云フコトニ非常ニ力拵テ入レラレタ結果、工業或ハ其生産品ノ輸出、或ハ生産ノ原料デアル材料品ノ輸入ト云フヤウナコトニ付キマシテ、指導助長スルコトガ輕ンゼラレテ居ルノデハナイカ、其點ヲ憂慮致ス一人デアリマス、或ハ他ノ法制ニ依リマシテ、指導助長ノ徹底ヲ期セラレルナラバ、是ハ別デアリマスガ、折角出來ル此法案ノ中ニハモウ少シサウ云フ意味ノコトヲ、強ク響カセルヤウニスルコトガ私ハ必ラ参考資料ノ中ニアリマシタガ、輸出ノ助長ノ爲ニ政府が出来サレテ居リマスル補助金デアリマス、参考書ノ年度別ノ金額ヲ見マスルト、最初ハ三十万圓、ソレガ二十五万圓、或ハ十何万圓、二十三万圓ニナルト云フヤウナ工合デ、寧ロ低下ノ傾向ヲ辿ッテ居ル、是ハ私甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ、是非將來

シテハ、斯ル調整方法ノ確立セラルコトヲ要致シテ居ツタノデアリマス、此度斯ウ云フ法案ガ、議會ヲ通ジ世ニ現ハレルヤウニナリマシタコトハ、洵ニ吾々トシテハ欣快ニ堪ヘナイ所デアリマス、唯私ハ此法案全體ヲ總括的ニ見マスル時ニ、輸出ノ調整、貿易ノ統制、生産工業ノ統制、サウ云フヤウナ統制ト云フコトニ非常ニ力拵テ入レラレタ結果、工業或ハ其生産品ノ輸出、或ハ生産ノ原料デアル材料品ノ輸入ト云フヤウナコトニ付キマシテ、指導助長スルコトガ輕ンゼラレテ居ルノデハナイカ、其點ヲ憂慮致ス一人デアリマス、或ハ他ノ法制ニ依リマシテ、指導助長ノ徹底ヲ期セラレルナラバ、是ハ別デアリマスガ、折角出來ル此法案ノ中ニハモウ少シサウ云フ意味ノコトヲ、強ク響カセルヤウニスルコトガ私ハ必ラ参考資料ノ中ニアリマシタガ、輸出ノ助

當局ハサウ云フ輸出ノ助長ト云フヤウナコトニ付テ一層力ヲ致サレテ、豫算等モ十分獲得シテ、其目的ヲ達セラレルヤウニ望ンデ止マナインデアリマスガ、此點ニ付テモ併セテ當局ノ御意見ヲ、此際承ッテ置キタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 御答ヲ申上ゲマス、第一ノ御尋ニ付キマシテハ、貿易竝ニ産業ノ統制ニ關スル此法律ニ依リマシテ、種々貿易ノ統制ト云フヤウナコトハヤルケレドモ、積極的ニ輸出ヲ振興スルト云フヤウナコトハ、少シモナイデヤナイカト云フ御尋デアリマシタ、洵ニ御尤ナ御尋デアリマシテ、今御話ノアリマシタヤウナ積極的ニ輸出ヲ

織スルヤウナ計畫ニナツテ居リマス、斯ウ云フ建前デ參リマスト、一層輸入或ハ輸出ノマスト、輸出ハ輸入、輸入ハ輸入、生産工レタ結果、工業或ハ其生産品ノ輸出、或ハ生産ノ原料デアル材料品ノ輸入ト云フヤウナコトハ、少シモナイデヤナイカト云フ御尋デアリマシテ、指導助長スルコトガ輕ンゼラレテ居ルノデハナイカ、其點ヲ憂慮致ス一人デアリマス、或ハ他ノ法制ニ依リマシテ、指導助長ノ徹底ヲ期セラレルナラバ、是ハ別デアリマスガ、折角出來ル此法案ノ中ニハモウ少シサウ云フ意味ノコトヲ、強ク響カセルヤウニスルコトガ私ハ必ラ参考資料ノ中ニアリマシタガ、輸出ノ助長ノ爲ニ政府が出来サレテ居リマスル補助金デアリマス、参考書ノ年度別ノ金額ヲ見マスルト、最初ハ三十万圓、ソレガ二十五万圓、或ハ十何万圓、二十三万圓ニナルト云フヤウナ工合デ、寧ロ低下ノ傾向ヲ辿ッテ居ル、是ハ私甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ、是非將來

業ハ生産工業ト、ソレトヨ別個ノ組合ヲ組成セテ、其目的ヲ達セラレルヤウニ望ンコトニ付テ、十分今後トモ努力ヲ致シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○中村委員 ソレカラ此三ツノ法案ニ依リマスト、輸出ハ輸入、輸入ハ輸入、生産工業ハ生産工業ト、ソレトヨ別個ノ組合ヲ組成セテ、其目的ヲ達セラレルヤウニ望ンコトニ付テ、十分今後トモ努力ヲ致シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○寺尾政府委員 御答ヲ申上ゲマス、生産業者デアツテ同時ニ輸出輸入ヲヤルト云フヤウナ者ガ、此貿易ノ組合ニ加入スルコトガ出來ルカドウカト云フ御尋ノヤウニ拜聴致シマシタガ、ソレハ出來ルノデアリマス、加入スルコトハ出來ルト云フコトニ御承知リマシテ、今後モ一層努力ヲ致シタ者ハ自ラ生産ヲシテ自ラ輸出ヲスル、或ハ自ラ材料ノ輸入ヲスル方ガ餘程宜イ、商機ヲ逸シナイハ、商工省ト致シマシテモ十分ニ考慮致シテ居リマス、從來モ其意味デ努力シテ參リマシタガ、今後モ一層努力ヲ致シタイト考へテ居ル次第デアリマス

○中村委員 従來ハ商工省ニ貿易通信員ト云フ海外在任ノ機關ガアリ又外務省ニハ商務官ト云フヤウナ制度ガアリマシテ、ソレゾレ貿易ノ事柄ニ關興セラレテ居ツタヤウデアリマスガ、外局トシテノ貿易局が設置サレマシテカラハ、聞ク所ニ依リマスト商務官ト云フヤウナモノハ廢止サレテ、サウシテ商工大臣ハ外務大臣ヲ經由シテ、外務省ノ商務官ヲ指揮監督シテ、貿易上ノ仕事ヲヤツテ行クト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ私ハ非常ニ實情ニ即シナイ結果ニナリハシナイカ、殊ニ外務省ノ商務官トシテ其仕事ニ携ツテ居ル人ハ、相當練達堪能ノ士デアラウト思ヒマスガ、外交畠ノ人達ハ育チガ育チデ、交際ト云フヤウナコトニ相當重點ヲ置

○寺尾政府委員 御答ヲ申上ゲマス、第一ノ御尋ニ付キマシテハ、貿易竝ニ産業ノ統制ニ關スル此法律ニ依リマシテ、種々貿易ノ統制ト云フヤウナコトハヤルケレドモ、積極的ニ輸出ヲ振興スルト云フヤウナコトハ、少シモナイデヤナイカト云フ御尋デアリマシテ、指導助長スルコトガ輕ンゼラレテ居ルノデハナイカ、其點ヲ憂慮致ス一人デアリマス、或ハ他ノ法制ニ依リマシテ、指導助長ノ徹底ヲ期セラレルナラバ、是ハ別デアリマスガ、折角出來ル此法案ノ中ニハモウ少シサウ云フ意味ノコトヲ、強ク響カセルヤウニスルコトガ私ハ必ラ参考資料ノ中ニアリマシタガ、輸出ノ助長ノ爲ニ政府が出来サレテ居リマスル補助金デアリマス、参考書ノ年度別ノ金額ヲ見マスルト、最初ハ三十万圓、ソレガ二十五万圓、或ハ十何万圓、二十三万圓ニナルト云フヤウナ工合デ、寧ロ低下ノ傾向ヲ辿ッテ居ル、是ハ私甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ、是非將來

○中村委員 従來ハ商工省ニ貿易通信員ト云フ海外在任ノ機關ガアリ又外務省ニハ商務官ト云フヤウナ制度ガアリマシテ、ソレゾレ貿易ノ事柄ニ關興セラレテ居ツタヤウデアリマスガ、外局トシテノ貿易局が設置サレマシテカラハ、聞ク所ニ依リマスト商務官ト云フヤウナモノハ廢止サレテ、サウシテ商工大臣ハ外務大臣ヲ經由シテ、外務省ノ商務官ヲ指揮監督シテ、貿易上ノ仕事ヲヤツテ行クト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ私ハ非常ニ實情ニ即シナイ結果ニナリハシナイカ、殊ニ外務省ノ商務官トシテ其仕事ニ携ツテ居ル人ハ、相當練達堪能ノ士デアラウト思ヒマスガ、外交畠ノ人達ハ育チガ育チデ、交際ト云フヤウナコトニ相當重點ヲ置

○寺尾政府委員 御答ヲ申上ゲマス、第一ノ御尋ニ付キマシテハ、貿易竝ニ産業ノ統制ニ關スル此法律ニ依リマシテ、種々貿易ノ統制ト云フヤウナコトハヤルケレドモ、積極的ニ輸出ヲ振興スルト云フヤウナコトハ、少シモナイデヤナイカト云フ御尋デアリマス、指導助長スルコトガ輕ンゼラレテ居ルノデハナイカ、其點ヲ憂慮致ス一人デアリマス、或ハ他ノ法制ニ依リマシテ、指導助長ノ徹底ヲ期セラレルナラバ、是ハ別デアリマスガ、折角出來ル此法案ノ中ニハモウ少シサウ云フ意味ノコトヲ、強ク響カセルヤウニスルコトガ私ハ必ラ参考資料ノ中ニアリマシタガ、輸出ノ助長ノ爲ニ政府が出来サレテ居リマスル補助金デアリマス、参考書ノ年度別ノ金額ヲ見マスルト、最初ハ三十万圓、ソレガ二十五万圓、或ハ十何万圓、二十三万圓ニナルト云フヤウナ工合デ、寧ロ低下ノ傾向ヲ辿ッテ居ル、是ハ私甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ、是非將來

キマスノデ、斯ウ云フ相當機敏ヲ要スル、而モ今日ノヤウナ國際情勢ニアリマシテ、深刻ナ競争ト言ヒマスカ、色々觀察力ヲ發揮シテ行カナケレバナラナイ時代ニ方リマシテ、外務省所管ノ人ヲシテソレニ當ラシメ、而モ商工大臣ハ外務大臣ヲ經由シテ商務官ヲ指揮監督シテ行ク、ソレデハ私ハ實際ノ效果ヲ期スルコトハ出來ナイノデハナカト思ヒマス、一層外務省ノ商務官ト云フヤウナモノハ、商工省ノ貿易局ノ方ニ一元化シテシマッテ、外務省デ外交上ノ色々ナ情報ヲ必要トスルナラバ、ソレハ商工省所管ノ貿易局カラ行ツテ居ル人ガ、外務省ヘ通告スベキコトハ通知スルト云フコトデ行ク方ガ、貿易上實績ヲ擧ゲ得ラレルノデハナイカ、此點ヲ私ハ今申シタヤウニ考ヘルノデアリマスガ、貿易局長官ハドウ云フ御考ガアリマスカ、吾々ノ理想ノヤウニ今後御盡力下サル御意思ガアルカドウカ、序ニ伺ヒタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 御答申上ゲマス、從來ハ海外ノ商務官ト云フモノニ付テ、商工大臣ハ指揮監督ヲスルト云フ權限ヲ持ツテ居リマセシタガ、併シ此海外ノ商務官竝ニ商務ニ從事スルト云フ風ナ者ニ對シマシテハ、一方海外ニ於ケル商事ノ保護ト云フ見

地カラ、外務大臣ガ是ノ指揮監督權ヲ持ツテ居ルト同時ニ、ヤハリ國內産業ヲ主管シ、又此貿易ノ主管官廳デアル所ノ商工大臣ガ、產業貿易ノ見地カラヤハリ海外ノ商務官ニ對シテ指揮監督ヲスルト云フコトガ必要デアラウ、其兩方ノ見地カラ外務省ト商工省ガオ互ニ協調シマシテ、海外ノ商務職員ノ指導監督ヲスルト云フコトガ最モ適當デアラウト云フ趣意ニ於キマシテ、現在ハ兩省デ左様ナ協議ヲ致シマシテ、既ニ之ニ必要デアル法令ヲ設ケマシテ、將來ハ兩省ガ俗ニ申シマスト、共同シテ海外ノ商務職員ノ監督ニ當ツテ行クコトガ宜シイノデハナイカト云フコトニ今日相成ツテ居リマス、此點ニ付テハ色々御意見ハゴザイマセス、今回商工大臣ト外務大臣トノ共管ニナウガ、現在政府トシテハ左様ニスルコトガ適當デアルト云フコトニ於キマシテ、左様ナ方針デヤツテ居ルノデアリマス

○中村委員 其點ニ付テ、モウ一步進メテ御聞キシテ見タイト思ヒマス、サウスルト云フコトニナツテ居リマス、現在各務官ハ所謂外交官、領事官試験ト云フモノデナツタ商務官ハ、大正十四年勅令百二號デ採用サレタル商務官デアリマシテ、其商務官ハ所謂外交官、領事官試験ト云フモノデナツタ學識及ビ經驗ニ長ジタル人カラ採用スルト云フコトニナツテ居リマス、現在各務官ニハドウ云フ人達ガ今ナツテ居リマスカ、願クハ私ハ貿易政策、產業政策ニ多年経験ヲ持ツテ居リ、又趣味モ持ツテ居リ、我ガシテハ相當皆練達ノ士デアルノデアリマス、普通ノ所謂外交官デハナインデアリマス

○松島政府委員 只今商務官ハドウ云フ資格ノ者ガ行ツテ居ルカト云フ御質問デアリマスガ、外務省ノ政府委員カラ御答致シマス、今回商工大臣ト外務大臣トノ共管ニナウガ、現在政府トシテハ左様ニスルコトガ度之ヲ設ケルト云フ趣意デアリマス

○增田委員 今本會議ガ始ツタヤウデアリマシテ、散會スル都合ガ御有リノヤウデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ

○中村委員長 御諮り致シマス、只今本會議ガ開カレマシテ、増稅案ガ上程サレルサウデアリマス、重大問題デモアリマスノデ、ソレヘ出席スルコトガ適當デアラウト考ヘラレマスノデ、此委員會ハ此程度ニ於テ本日ハ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス（「時間勵行ヲ願ヒマス」）ト呼フ者アリ）時間ハ勵行致シマス、ソレカラ開會スル部屋ハ公報ヲ御覽下サルヤウニ成ベク此部屋デ開會シタイケレドモ、澤山委員會ガアル爲ニ明確ニ申上ゲ兼ネマスカラ、必ズ公報ヲ御覽下サイ

午後三時五十分散會

昭和十二年八月四日印刷

昭和十二年八月五日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所